

# 委員会だより

平成20年度  
主な活動方針決める

# 議会まめ知識

## 各種団体との

### 意見交換をメインに

1. 西いぶり広域連合について  
① 随時、進捗状況の情報を求めていく
  - ② 関係団体と意見交換を実施する
  - ③ 西胆振圏の将来を考える研究について（4月）
2. 行財政改革について  
① 随時、進捗状況を求めていく
  - ② 指定管理者導入施設の視察及び、現状把握と今後のあり方について（5月）
  - ③ 補助金や助成金のあり方について（21年1月）
3. 教育行政について  
① 学校訪問・各学校図書館視察
  - ② 関係団体（学校長・教員等）との意見交換会



## 生活・福祉委員会

### 条例づくりと

#### 「ゴミ処理を中心に!!」

今年度は、先ず『登別市福祉のまちづくり条例』について取り組まなければなりません。これは、自治推進委員会で骨子、市の担当部で素案を作成し、パブリックコメントなどを経て策定された条例案であります。

しかし、議会では、より多くの市民の声を聴くべきとの声が多かったことから、第1回定例会で継続審査となっているものです。市民との意見交換を行なうと共に、より専門性を重視した調査研究を行い、慎重に結論を見出していきたいと思っております。

また、ノーレジ袋の展開についての調査や、老朽化が著しい公共施設の設備方針のあり方、さらに、課題となっている白老町との広域でのゴミ処理のあり方などを慎重に調査していきたいと考えています。

## 観光・経済委員会

### 産業育成のための

#### 調査活動を展開

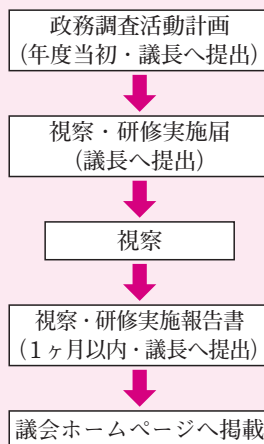
昨年度は、水道事業やマリナーパーク、カルルスサンライバスキー場の運営、そして観光産業など、市として関わり合っている事業について、担当部局や諸団体と意見交換をしてきました。今年度も諸団体と、意見交換を積極的に行う予定です。特に一次産業の育成のため、漁協や農協あるいは、新たな産業起こしという視点より、日本工学院の学生や先生などと意見交換を計画しています。また、自治推進委員会の担当部会とも積極的な関わりを目指します。



カルルスサンライバスキー場まつり

### 「視察」

審査または調査研究のために視察が行われます。会派による視察は、議員一人あたり月1万円の政務調査費を用いて、左図のような手続きにより実施されます。



また、常任委員会の視察は隔年で実施されており、定例会本会議での報告が義務付けられています。

19年度は「議会基本条例」「水道事業」「行財政改革」「合併」などをテーマに視察しました。報告書はすべてホームページに掲載しています。常時公開しているのは全国の議会でも先進的な取り組みです。ぜひ一度ご覧下さい。

一方、他の議会から登別へ毎年40団体を超える視察を受け入れております。17年度までは「ふおれすと鉦山」「しんた21」「コロポックルの森」などの施設面での視察が主でした。最近では、年3回の定例会や、議会フォーラムなど「議会改革・運営」の取り組みが注目され、18年度9団体、19年度13団体と、三重県議会・千葉県議会など、全国から視察に訪れております。